

関 係 各 位

埼玉県福祉部障害者福祉推進課長（公印省略）

第11回全国障害者芸術・文化祭埼玉大会「障害者アート マネジメント セミナー」
のリーフレット送付について（依頼）

新緑の候、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび第11回全国障害者芸術・文化祭埼玉大会実行委員会から、標記リーフレットの配布依頼がありました。

つきましては、別添のとおりリーフレット及び参加申込書を送付しますので、周知につき特段の御配慮をお願いします。

なお、下記担当は、第11回全国障害者芸術・文化祭埼玉大会実行委員会の事務局を兼ねています。第11回全国障害者芸術・文化祭埼玉大会について、御不明な点などがありましたら御連絡ください。

今後とも、本県の障害者福祉行政の推進につきまして御支援賜りますようお願いいたします。

（参 考）全国障害者芸術・文化祭

障害者の芸術及び文化活動への参加を通して、障害者本人の生きがいや自信を創出し、障害者の自立と社会参加を促進するとともに、障害に対する国民及び県民の理解と認識を深めるため、平成13年度から開催されている事業です。

埼玉大会では、障害者が日頃取り組んでいる文化活動を紹介すると共に、創造性や芸術性にあふれた障害者の創作活動の魅力を、埼玉から全国に発信します。

担当：障害者芸術・文化担当 小田・清水

電 話 048-830-3312

FAX 048-830-4789

障害者アート マネジメント セミナー

障害のある人のアートの

創作からアウトプットまで

Lecture & Workshop

2011.6/25(Sat)~6/26(Sun)

今、障害のある人の作品の展覧会、デザインした商品などが、とても注目を集めています。

ショップや雑誌などで実際に目にされた方も多いのではないのでしょうか？

障害のある人の創作から生まれる“表現”

この創造性あふれる“表現”をマネジメントし、広く社会・市場につなげていくための考え方や手法を、共に考え、学びませんか？

©Able Art Company

申込方法

お申込みは事前申込となっています。

締切日：平成23年6月22日(水)

申込：次の事項を記載の上、下記「お申込み・お問い合わせ先」にE-mail、FAXでお申込みください（電話受付も可）。

- ①セミナー参加希望の旨
- ②氏名、所属団体(施設・学校など)
- ③連絡先住所、電話(FAX)番号、E-mail
- ④希望する分科会(2日目)を2つ

※ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

対象：2日間とも参加できる方であれば、福祉施設(団体)職員・学生・アーティストをはじめ、どなたでも参加できます。

※定員に空きがある場合、1日のみの参加可能

定員：100名(申込先着順)

参加料：無料

※日程／会場は裏面をご参照ください。

お申込み・お問い合わせ先

第11回全国障害者芸術・文化祭埼玉大会 実行委員会事務局(埼玉県福祉部 障害者福祉推進課内)

住所：〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話：048-830-3312 FAX：048-830-4789

E-mail：a3300-04@pref.saitama.lg.jp

障害者アート マネジメント セミナーとは…？

昨年、埼玉県で開催した「福祉を変える『アート化』セミナー」は、多くの方から大変好評をいただきました。

今回は「障害者アートのマネジメント」をテーマにセミナーを開催します。

障害のある人の創作の環境を整え、社会にアウトプットしていく意義やその手法などを、事例紹介やワークショップも交えながら考えていきます。

新しい視点で何か取り組めないか…その課題解決のきっかけにしていきたいセミナーです。

彩の国



1日目
日時 6月25日(土) 13:30~17:00
テーマ 「障害のある人のアートの社会化」
会場 浦和ふれあい館

13:00~13:30 受付
 13:30~13:50 開会 オリエンテーション など
 13:50~14:50 「障害のある人のアートの可能性
 ~welfare からworkへ」

【講師】播磨 靖夫(財団法人たんぼぼの家理事長/奈良県)
 【内容】今、障害のある人たちをとりまく状況も大きく変わりつつあります。障害のある人のアートが現代社会の中でどのような可能性をもっているのか、またコミュニティの中でどのような役割を果たすことができるのかを考えます。

15:00~16:00 「表現と社会をつなぐ仕組みづくり」

【事例報告①】 るんびにい美術館/岩手県
 【講師】村井 資((社福)光林会るんびにい美術館スタッフ、いわて・きららアート協会事務局)
 【内容】全国の知的障害のある人の作品を中心に展示している「るんびにい美術館」。創作活動や発表の場、そして交流の場などを通じた地域の中で障害のある人のアートを育む場づくりについて報告します。

【事例報告②】 葦の家/福岡県
 【講師】村谷 つかさ((社福)葦の家福祉会生活介護事業葦の家スタッフ)
 【内容】障害のある人の個性的な表現をいかそうと、6年前に創作活動をはじめた「葦の家」。どのように創作環境を整え、展覧会やアートグッズ制作を行うようになったのか報告します。

【事例報告③】 工房しょうぶ/鹿児島県
 【講師】土井 初音((社福)太陽会しょうぶ学園スタッフ)
 【内容】障害のある人たちのもつ創造性にこだわり「ものづくり」に取り組む「工房しょうぶ」。そのデザイン性は多くのギャラリーやショップで高く評価されています。織・縫・木工・陶、そして食にまで広がるデザインを通じた取組を報告します。

16:00~17:00 振り返り&質疑応答

2日目
日時 6月26日(日) 10:00~16:30
テーマ 「アウトプットを具体的に学ぶ」
会場 埼玉県男女共同参画推進センターWithYouさいたま

9:30~10:00 受付
 10:00~10:10 前日の振り返り
 10:10~10:40 「障害のある人のアートを
 社会につなぐマネジメント」

【講師】岡部 太郎(財団法人たんぼぼの家スタッフ/奈良県)
 【内容】障害のある人のアートを社会化していくにはさまざまな方法があります。ギャラリーや美術館だけではなく、コミュニティのなかで障害のある人のアートを魅力的に伝えるためのマネジメントについて考えます。

10:50~12:20 分科会 その1
 ※午後の「分科会 その2」も同じテーマですが、異なるテーマの分科会にご参加いただけます。お申込み時にご希望のテーマを2つ選択してください。

【分科会①】 作品を生み出す工夫と環境づくり
 【講師】中井 幸子(画家/静岡県)
 朝比奈 益代(NPO法人La Manoクラフト工房ラ・まのスタッフ/東京都)
 【内容】障害のある人の表現を作品につなげるための画材や道具の工夫、環境づくりについて考えます。

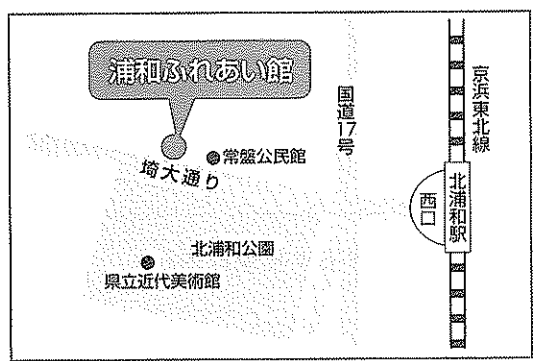
【分科会②】 作品をまもるスキル~作品の管理と記録
 【講師】藤井 克英(たんぼぼの家アートセンターHANAスタッフ/奈良県)
 清水 啓一(造形作家、たんぼぼの家アートセンターHANAアートアドバイザー/奈良県)
 【内容】作品の保存や管理、記録について具体的な技術やアイデアを学びます。

【分科会③】 作品を魅力的にみせる方法
 【講師】中津川 浩章(美術家、(社福)みめ福祉会工房集アートディレクター/埼玉県)
 【内容】作品を魅力的に見せるためには何かが必要か。作品をいかに展示方法、空間の作り方を実践的に考えます。

12:20~13:30 昼休憩
 13:30~15:00 分科会 その2
 ※「分科会 その1」と同じ3つのテーマから午前中と異なる分科会にご参加いただけます。
 15:10~16:30 振り返り&まとめ

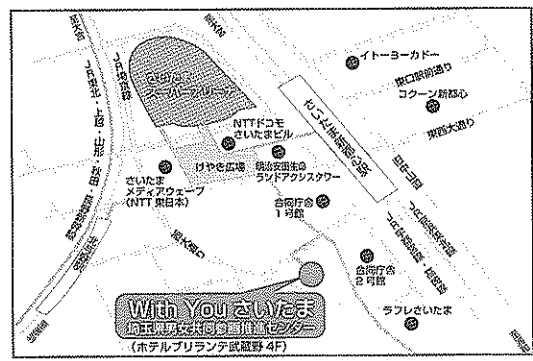
会場案内 ※1日目と2日目で会場が異なりますのでご注意ください。

《1日目》浦和ふれあい館
 住所：さいたま市浦和区常盤9-30-22
 電話：048-835-3111 Fax：048-835-1222



JR京浜東北線 北浦和駅 西口 徒歩5分

《2日目》埼玉県男女共同参画推進センター
 With Youさいたま
 住所：さいたま市中央区新都心2-2
 ホテルプリランテ武蔵野4階
 電話：048-601-3111 Fax：048-600-3802



JR京浜東北線、高崎線、宇都宮線 さいたま新都心駅 西口 徒歩5分

障害者アート マネジメント セミナー 参加申込書

あて先：埼玉県障害者福祉推進課 障害者芸術・文化担当 清水

住 所：〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

電 話：048-830-3312

FAX：048-830-4789

E-mail：a3300-04@pref.saitama.lg.jp

氏 名			
所属団体		※個人の方など団体に所属しない方は「なし」とご記入ください。	
連 絡 先	住 所		
	電話/FAX	電話：	FAX：
	E-mail		
希望する分科会		※希望する分科会の下欄に「○」をつけてください。 ※各分科会のテーマ等は下段、又はリーフレットを御参照ください。	
		分科会①	分科会②

分科会テーマ

【分科会①】 作品を生み出す工夫と環境づくり

【分科会②】 作品をまもるスキル～作品の管理と記録

【分科会③】 作品を魅力的にみせる方法